

# 福井県のスクール・ミッション策定に対する考え方

福井県教育振興基本計画の基本理念および令和2年6月に出された「福井県高等学校教育問題協議会」答申に即し策定する。

## 1 福井県教育振興基本計画の基本理念

「一人一人の個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり」

## 2 福井県高等学校教育問題協議会答申（県立高校の魅力化に向けた目指すべき方向性）

### 1 地域の普通科系高校の魅力化

地域の普通科系高校においては、進学から就職まで様々なニーズに対応することが必要である。今後は、市町の参画や協力を得ながら、長い時間をかけて地域外の高校へ進学しなくても、生徒や保護者が希望する進路を地元の高校で実現できる環境を整備することが何より重要となる。特に難関大学進学については、県教育委員会が主体となり、各高校を支援していくことが必要である。

### 2 スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）指定4校の魅力化

SSHの指定を受けてから10年以上経つ高校があるが、研究機関や大学との関係を強化しながら、これまでの取り組みやノウハウを生かし、さらにステージアップしていく必要がある。高校入試の段階から秀でた才能や得意な教科を持つ生徒を確保し、進路希望に応じた環境充実を図る必要がある。

### 3 職業系高校の魅力化

今後は、AIやICTと農業・工業の融合等が進み、新たな産業が多く芽生えることが予想されることから、職業系高校においても、主体的・対話的で深い学びを進める必要がある。①社会に出てから生活の基礎となる一般教養と基礎学力、②仕事に役立つ専門的知識と技術（企業実習や外部人材による指導）、③協働するために必要なコミュニケーションの育成を進めることが必要である。

また、人口減少や高齢化に伴い継承者不足による廃業が増えていることから、こういった地域が抱える課題の解決に向け地域のリーダーとして主体的に取り組む人材が求められている。